

2022年5月24日
駐日ハンガリー大使館

人生で一度乗ってみたい「ハンガリー鉄道」 ～親子で楽しめる鉄道展～

【イベント展示】6月1日(水)～8月26日(金)@リスト・ハンガリー文化センター



この度、リスト・ハンガリー文化センター（東京・麻布十番）では、ハンガリー鉄道の歴史に思いを馳せながら、珍しい列車や車窓の絶景に出会えるイベント「人生で一度乗ってみたいハンガリー鉄道」展覧会を6月1日（水）～8月26日（金）の会期で開催いたします。

＜ハンガリー鉄道の魅力とは？＞

ハンガリーには、ヨーロッパ大陸最古で「世界遺産」にもなっている地下鉄、運転業務以外すべて子供たちで運営されている「子供鉄道」、日本の鉄道同様に「開業 150 周年」を迎えるハンガリー西部のジェシエヴ鉄道、クリスマス前ライトアップする「路面電車」など魅力あふれる鉄道が沢山あります。今回、「ハンガリー鉄道」として知られるマーズ、子供鉄道、ジェシエヴ鉄道、ブダペスト交通センター、ブダペスト市交通局、さらに交通というテーマに特化した出版社であるインドハーズ出版社、技術と交通の博物館、ブダペストの鉄道歴史公園から、写真、展示品、資料などを提供いただきました。

会場では、「昔と今」の写真から、ハンガリー人の生活を支えてきた鉄道の歴史に思いを馳せることが出来る他、日本でなかなか目にする機会のない機関車や車両、バラトン湖、ドナウ河といった車窓から見える絶景、欧州の国際列車が乗り入れる駅舎などが楽しめます。日本にいる数多くの鉄道ファンはもちろん、子供から大人まで楽しめるユニークな企画展になっておりますのでぜひ、足をお運びください。



<見どころ①巨大な鉄道ポスター展示>

会場には、床に路線図、そして巨大な鉄道ポスター、さらには写真を迷路のように展示。車窓の絶景や駅舎など、日本にいながらハンガリー鉄道に乗ったような気分になれます。また、1 か月に 1 回、展示品を入れ替えるので、何度足を運んでいただいても、新しい発見があって楽しんでいただける展覧会になっています。

ハンガリー鉄道豆知識：ブダペストの駅では欧州の列車が見られる

- * ブダペストの駅はヨーロッパ各国の国際列車が乗り入れる。
ハンガリー鉄道は標準軌（1435mm）日本は狭軌（1067mm）
ハンガリー鉄道と同じ幅なのは、日本では新幹線と一部の私鉄。
- * ブダペストの駅など大都市の駅は頭端式（行き止まり式）が多い。



<見どころ②鉄道タイムスリップ>

ハンガリー鉄道の昔と今を比較できる写真パネル、皇帝フランツ・ヨーゼフが乗った豪華な列車の内装など、ここでしか見られない希少な写真を展示します。さらに、昔と今の時刻表も展示しているので、タイムスリップしたような気分も味わえます。



<見どころ③午後 3 時のお楽しみ？！駅のチャイム音&アナウンス>

今回特別に、ハンガリーに行かないと聞くことができない駅のチャイム音やアナウンスを会場で聞くことができます。午後 3 時に出発（流す予定）いたしますので、ぜひ乗り遅れないように（聞き遅れないように）お越しください。

ハンガリー鉄道豆知識：日本の鉄道とココが違う

- * 発車のベルは基本、鳴らない
- * 車内アナウンスは簡潔（ハンガリー語、英語、ドイツ語）
- * ホームは日本に比べて低い
- * 駅には改札がない、列車内で検札がある
- * 駅舎は歴史的建造物になるほど立派なものが多い
- * コンパートメント式という個室になっている座席が多い
- * 国際列車・国内列車共に特急には食堂車があることが多い
- * 乗りたい列車のホームは直前にならないと決まらない



<見どころ④キッズ向け！フотスポットもあり>

子供鉄道提供の、本物の帽子、発車棒などを片手に写真撮影をすることができます。



その他、鉄道 BIG4 の南田裕介氏や他講師による、「ハンガリー鉄道の楽しみ方」など、複数回の講演、プレゼントがもらえる鉄道謎解きなど、様々な企画をご用意しておりますので、ぜひこの機会に足をお運びください。

「人生で一度乗ってみたいハンガリー鉄道」概要

期間：6月1日（水）～8月26日（金）

開館時間：11:00～17:00（※最終入館 16:45）

※休館日：毎週土曜日/日曜日/日本とハンガリーの祝日（6月6日、7月18日、8月11日）

会場：リスト・ハンガリー文化センター

住所：東京都港区麻布十番 3-8-1 日比谷麻布十番ビル 1 階

※アクセス：東京メトロ南北線・都営大江戸線「麻布十番駅」徒歩 3 分

電話：03-6459-4931（代）

